

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		児童・生徒指導事業費〔普通学級介助員派遣事業〕									
予算科目	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業番号	3			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	教育総務		課		学務		係	課長名	斎藤 謙二郎		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実							総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	普通学級に在籍している介助を必要としている児童・生徒				→ 介助を必要とする児童・生徒数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	介助を必要としている児童・生徒が、安全に学校生活を送ることができる				→ 安全に学校生活を送ることができた児童・生徒数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	介助員を採用し、当該普通学級に配置する				→ 介助員勤務日数						
3 経費	事業費(実績)		円	5,844,713	6,656,212	6,523,820	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	5,844,713	6,656,212	6,523,820					
		特定財源(国・都・他)	円	0	0	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.0	0.1	0.1					
		所要人数(再任用)	人	0.2	0.0	0.0					
職員人件費(再任用以外)		円	0	838,000	825,000						
職員人件費(再任用)		円	783,400	0	0						
事業費+人件費		円	6,628,113	7,494,212	7,348,820						
4 環境変化等	(1) 開始年度		13 年度								
	(2) 環境の変化 就学相談の結果、介助を必要とする児童・生徒が普通学級に在籍することとなったことを契機に、事業を開始した。介助を必要とする児童・生徒の入学、進級、卒業及び支援内容により、任用する介助員の人数や経費に増減が生じる。										

事業名称	児童・生徒指導事業費〔普通学級介助員派遣事業〕				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：			
		【取組手法の種類】			
		①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点					
特になし					
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 一律的な対応は難しく、介助員に看護師資格が必要な場合もあり、ケースバイケースの対応が求められる。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。				
	特になし				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
介助員の任用や配置については、公平性や必要性等を踏まえ、一定の枠組みの中で統一的な判断基準等をもとに行う必要がある。 また、一方で、介助が必要な児童・生徒の性別、体格や学年等によっても、その子に必要な介助が異なることから、安心して学校生活を送ることができるよう、一定の枠組みの中で適した人材を任用する必要がある。					
8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）					
施策名： 学校教育の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止				
	【取組内容】				
	公平性や必要性等を踏まえ、一定の枠組みの中で統一的な判断基準等をもとに介助員の任用や配置を行う必要があることから、介助員配置基準等を整備する。また、介助を必要とする児童・生徒に対し、その子に適した介助員を任用するため、学校と情報共有を図り、連携しながら人材の確保にあたる。				
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
特になし					